

## 認知症作業療法 活動報告 (概要)

島根県作業療法士会は、会員数**517**名・所属施設数**133**(令和元年7月23日現在)で構成されています。令和元年度は、島根県内各地域に認知症作業療法推進委員を配置できるようなメンバーを**19**名に増員しました。活動の目的として、①認知症作業療法士の人材育成②地域での県士会員の活動の場の創出とし、アップデート研修の継続開催、認知症研修会開催、地域や行政、認知症家族の会との連携、Run伴への参加など取り組みを行っています。

## 認知症アップデート研修(浜田地区：6月16日、出雲地区：7月21日)

令和元年度認知症アップデート研修は昨年度に引き続き島根県東部・西部で計**2**回実施しました。担当講師も認知症委員で振り分け各々のスキルアップも兼ねて実施しました。今年度は、+α企画として、行政に勤務する作業療法士による認知症施策に関する講義も実施し、参加者の方からの反応も良好でした。島根県士会における修了者は、現時点で、**187**名で全県士会員の約**36%**となっています。



## 認知症研修会の実施(出雲地区：10月12日)

**NPO**法人認知症フレンドシップクラブ理事の徳田雄人先生をお招きし、「認知症になっても暮らし続けられる社会とは」というテーマで認知症研修会を実施しました。当日は、台風の影響で先生がご来島できず、**ZOOM**を使用した遠隔講義となりましたが、医療専門職だけでなく、一般の方々にもご参加頂き有意義な研修となりました。



## 地域や行政、認知症家族の会との連携(9月20日)

昨年度に引き続き、認知症家族の会より当県士会にお声掛け頂き、島根県内各地のショッピングセンターにて世界アルツハイマーデー啓発イベントを実施しました。認知症**OT**推進チームからもメンバーが参加し、一緒にイベントを盛り上げました。



## 島根Run伴への参加(出雲・大田・浜田地区：10月20日)

島根県作業療法士会会長が実行委員長となり他職種と連携しながら「認知症になっても安心して暮らせる町」を目指して認知症の人と家族の会・他職種・行政・一般の方と連携しながら活動しています。今年度から、出雲・大田・浜田と**3**地区で実施され、各地区の実行メンバーに作業療法士が加入しています。



## 今後の展開

- ・ 認知症アップデート研修の継続研修内容の質の向上
- ・ 行政や家族会との連携を今後どのように活用・展開していくかの検討